

## 第3回 プロセス運営委員会（H27.12.18）の主な意見とその対応について

### 1. ステップ3の検討の進め方について

主な意見	回答・対策方針など
・1回目の情報提供もPI活動の一部なので、表現を改めた方が良い。	・ニュースレター（号外）による1回目の情報提供もPI活動の一環であることを踏まえ、資料を修正した。（資料3参照）

### 2. コミュニケーション活動（1回目）実施計画について

主な意見	回答・対策方針など
・オープンハウスなどのイベントを地元のマスコミなどに取材してもらう方が良い。	・各地でのパネル展・オープンハウス等の状況が円滑に取材できるよう、事前にスケジュールを報道機関に提供し、県民会議や市町村会議等の取材がなされ新聞報道された（別紙1）。
・県民と直接対話できる出前講座を積極的に実施した方が良い。	・「沖縄鉄軌道計画案づくり出前講座」実施要領を策定し、出前講座に関する情報をHPへアップした（別紙2）。
・パネル展示やオープンハウスの場所は、病院など体の不自由な方などにも配慮した施設を追加した方が良い。	・県立北部病院、県立南部医療センター・こども医療センターで追加実施した。
・パネル展示の期間延長ができないか市町村役場などに依頼した方が良い。	・浦添市において期間延長したほか、県庁でのパネル展を1週間から約1か月に延長した。

### 3. 情報提供内容について

主な意見	回答・対策方針など
・ニュースレターに、他の自治体の事例として鉄軌道導入後の生活環境の変化などを紹介することで、読者はより理解が深まると思う。	・今後、他の自治体の事例から鉄軌道整備によるまちづくり効果等を整理することとしており、とりまとめ後情報提供していく。
・今回のニュースレターから初めて見る人もいると思うので、冒頭に計画案づくりの目的を示した方が良い。 ・また、すでに鉄軌道計画案づくりの議論が進んでいることを初めて見る人にもわかるよう伝える工夫も必要。 ・ニュースレター全体をストーリー性をもたせるような工夫をしてほしい。	・ニュースレター（第4号）において、トップページに計画案づくりの目的、現在の検討の進捗状況や今後の進め方を示し、初めて計画案づくりを知った方にも理解して頂けるよう紙面構成を修正した。 ・また、紙面上の配色を整理し、強調したい箇所を同一色で示すなど修正を加え、各ページの冒頭に前後のページとの関連を説明するなどニュースレター全体のストーリー性についても配慮した。

主な意見	回答・対策方針など
<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンハウスの実施スケジュールに関するページは、県職員が説明に伺うことを説明した方が良い。</li> <li>・質問の問3は、公共交通に求める役割だけでなく、取り組みについても確認した方が良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員意見を踏まえたニュースレターの修正を行った。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・パネルは、初めて鉄軌道計画案検討を知る人が理解しやすいよう、検討目的などを説明するパネルも用意した方が良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パネルを初めてご覧になる方々へも鉄軌道計画案の検討目的等がわかるようなパネルを作成した。</li> </ul>

(別紙 1)

平成 27 年 12 月 24 日 (木) 沖縄タイムス 2 面

**鉄軌道のサイト  
県が刷新し公開**

県交通政策課は、導入を検討している鉄軌道の計画ルート案に意見募る

案づくりに関するホームページのデザインを刷新して公開している(写真)。3月からルート案の本格検討に入るのを前に、県民の関心を高めて意見を反映させたい考え。18日のプロセス運営委員会で報告した。

ホームページでは、計画案づくりの進捗や委員会の内容などが確認できる。

同課は25日から、鉄軌道導入による沖縄の将来像を示した鉄軌道ニュースの号外を市町村役場などで配布。1月25日からは各市町村でのパネル展や意見募集などを行い、同30日には県民会議を開く。



平成 27 年 12 月 31 日 (木) 沖縄タイムス 2 面

**来年3月複数ルート案  
鉄軌道導入議論進む**

鉄軌道の導入を検討する議論が三つの専門委員会で進み、12月には那覇名護を1時間で結ぶ骨格軸が示された。いよいよ来年3月にはルート案が複数示され、検討作業が本格化する。

鉄軌道は当初、年度内に計画案を策定する予定だったが、ルート案の設定に慎重を期すため、作業スケジュールを見直した。2016年中の策定を目指す。

県はルート案の検討作業に入る前に、県民意見の募

ら公共交通への利用転換を図るため、県は2月にバスラインを37年ぶりに延長した。朝は宜野湾市伊佐から那覇市久茂地まで1・6時延長を図る。また、自家用車か

集や出前講座、県民会議などを開き、県民と情報共有

4月には「ICカード「O-KICA(オキカ)」が路線バスにも導入された。夕クシーや船舶への拡張を議論する協議会も12月にスタートした。

4月には全長10・4km、夕方は那覇市旭橋から浦添市牧港まで4・6km延び6・8kmとなつた。

4月には「ICカード「O-KICA(オキカ)」が路線バスにも導入された。夕クシーや船舶への拡張を議論する協議会も12月にスタートした。

**40年の悲願活性化期待**

## 鉄軌道の導入へ 県民目線で議論

名護で県民会議

【名護】県交通政策課は  
30日、名護市の名桜大で鉄  
軌道導入に関する県民会議  
の第2回会合を開いた。公  
募で集まつた一般県民24人  
が、公共交通の役割などに  
ついて意見を交わした=写  
真。



間、事業費、損益の見通し  
などを挙げた。これに対し、  
参加者からは「自動車保有  
数、二酸化炭素排出量がど  
れだけ減るか」「用地買収  
に何年かかるか」などの質  
問があつた。

参加者は五つのグループ  
に分かれて2時間以上討  
議。北谷町の自宅から直野  
湾の大学に車で通う新垣  
リユウさん(21)は「人が多  
く通う大学の近くに駅がで  
きれば、迷路や事故も減る  
と思います」と意見を述べた。  
意見を反映させていく。

県は年内に、鉄軌道のお  
よその発着点やルートを  
盛り込む計画案を策定す  
る。県民会議も数回開き、

## 平成 28 年 2 月 8 日（月）琉球新報 2 面

## 鉄軌道導入で 市町村と会議

県、複数案を検討

【沖縄】沖縄本島への鉄  
軌道導入に向けた計画策定  
で県交通政策課は3日、沖  
縄市の中部合同庁舎で市町  
村会議を開催した。県は5  
月ごろまでに、交通量、施  
設の位置、ルート、駅、バ  
スやLRTなどの支線など  
の案を複数検討する方針を

説明した。出席した市町村  
の担当者からは「小規模の  
開発も踏まえて検討してほ  
しい」などの意見が出され  
た。

自治体担当者からは迷路  
緩和のため那覇—豊見城—  
糸満の計画を求める声やM  
ICEが立地する与那原町  
への交通接続の課題、米軍  
普天間飛行場返還跡地の經  
路検討の有無などの質問が  
上がつた。

## 鉄軌道への要望

### 市町村から聴取

県が会議開催

【沖縄】県交通政策課は3日、沖縄市の中部合同庁舎で第2回沖縄鉄軌道市町村会議を開いた。市町村の担当者らに、同課から計画案の検討状況などについて説明があった。市町村からは、駅位置や駅周辺の整備、骨格軸に接続するフィーダー交通(支線)としてのバータス網の整備などに 관심が寄

せられた。

宜野湾市の担当者からは「普天間飛行場跡地を通るかどうかで跡地利用が変わってくる。どこを通るか方向性は決まっているのか」。

豊見城や糸満の担当者からは「豊見城や糸満も、骨格軸に接続するフィーダー交通ではなく骨格軸に入れたほうがいいのではないか」との質問

平成 28 年 2 月 11 日 (木) 琉球新報 2 面

## 鉄軌道導入向け意見交換

鉄軌道導入に向けた計画案策定のため、県交通政策課は10日、16の関係機関との意見交換会を那覇市の県南部合同庁舎で開いた。会の出席者は「(鉄軌道導入による)交通渋滞緩和

を定量的に示してほしい」「災害時の復旧などの運営費も検討に入れてほしい」などの意見が出された。

計画案策定に向けては現在、路線のルート案などを検討する第3段階にある。

平成 28 年 2 月 12 日 (金) 沖縄タイムス 3 面

## 鉄軌道ルート案 県が本格検討へ

### 関係機関と意見交換

県交通政策課は10日、那覇市内で鉄軌道計画案の策定に向け、関係機関との意見交換会を開いた。3月末から有識者による委員会でルート案の検討が始まるのを前に、交通事業者や経済・観光団体、市民団体の代表者が意見述べた。参加者からは好調な観光を念頭に、「空港だけではなく、クルーズ船を想定した海路との結節も検討する

べきだ」「駅から観光地や地域を結ぶフィーダー交通も重要」との意見があった。

公共交通の事業者からは「既存の公共交通と相乗効果が得られるような対策が必要」として、役割分担の必要性を指摘する意見もあった。

同課は県民から募集している意見や、今回の意見交換会の議論も踏まえ、3月末の検討委員会で複数案を提示。ルート案の本格的な検討を始める。